

令和4年度倉治こども園自己評価表

(注)「十分できている」はA欄に、「できている」はB欄に、「努力が必要」はC欄に○をつける。

番号	チェック項目	A	B	C
1	幼保連携型認定こども園教育・保育要領は、法令として守るべき最低基準であることを理解している。	○		
2	子どもの人権に十分配慮し、子ども一人一人の人格を尊重して保育を行っている。	○		
3	第三者委員を設置し、適正な苦情解決が行われている。	○		
4	幼保連携型認定こども園教育・保育要領に沿って、教育と保育を一体として行う教育課程を編成している。その際、小学校教育との円滑な接続や地域の特色等について配慮している。	○		
5	全ての保育教諭が園の教育・保育方針等について正しく理解し、保護者等に説明することができる。		○	
6	全ての保育教諭が教育・保育に関する園の申し合わせ事項を遵守している。		○	
7	長期指導計画（年間指導計画）及び短期指導計画（月間・週間）を適切に作成している。	○		
8	保護者や入所児童、職場の個人情報保護について、徹底を図っている。	○		
9	常に安全な環境や適切な衛生状態を作っている。	○		
10	当該乳児については、午睡の状態（呼吸・顔色・嘔吐・汗）を常に観察するとともに、SIDS（乳幼児突然死症候群）のチェックを記録している。	○		
11	保護者との良好な関係の構築に努めている。		○	
12	保護者に対する子育て支援の強化・充実を図っている。	○		
13	児童虐待等に関して関係機関との連携を図っている。	○		
14	保護者との密接な連携や日々の観察により、一人一人の健康状態や発達を把握し、適切且つ速やかに対応している。特に、アレルギーや熱性痙攣等の既往症については、全ての保育教諭に周知している。	○		
15	主幹保育教諭を中心として、地域における子育て支援に貢献している。		○	
16	小学校とのスムーズな接続を図るため、小学校との連携を促進している。	○		
17	保育教諭自身が常に自己啓発に努め、資質の向上を図っている。		○	
18	職員の資質の向上のため、キャリアパスをはじめとする園の内外での研修会等を通して職員研修の充実を図っている。		○	
19	加配保育教諭の活用等、市の担当課と連携して、障害児保育の充実を図っている。その際、当該保護者との信頼関係の構築に努めている。	○		
20	保護者のニーズの把握に努めるとともに、アクバス体操や英語レッスン、文字指導等を通して、魅力と特色ある教育の実践を図っている。	○		
21	災害や不審者等の緊急時の対応マニュアルを完備している。併せて、定期的に訓練を実施している。	○		
22	就業規則や各種協定は正規の手続きを経て、監督庁に届けられている。	○		
23	職員は、就業規則等、諸規則を理解し、遵守している。		○	

番号	チェック項目	A	B	C
24	上司の指示を実行し、結果を報告している。併せて、業務遂行にあたっては、正確・迅速かつ、きめ細かく上司に報告・連絡・相談している。		○	
25	園長、主幹保育教諭、指導保育教諭、クラスリーダーの職責が果たされている。		○	
26	「倉治こども園業務分担組織」に基づき、職員間の役割分担が適切に行われている。		○	
27	職員会議をはじめとする各会議は、適正且つ能率的に行われている。	○		
28	職員間の良好な関係や風通しのよい職場環境の構築が図られている。		○	
29	園児に対する体罰は勿論のこと、職員間におけるパワハラやセクハラ、悪評の流布などはない。	○		
30	こども園の財産である施設や物品は丁寧に扱い、長持ちさせるようにしている。	○		
31	使った物品は使用後速やかに必ずもとあった場所にもどし、適切に管理している。		○	
32	これまでの状況にとらわれることなく、社会や環境の変化に適切に対応している。	○		
33	会計処理は各種規則等に基づいて厳正に行われており、監査は適正に行われている。併せて、園長、会計責任者、出納責任者は分職して、公正を期している。	○		
34	定款、役員名簿、財務諸表等の必須事項を情報公開している。	○		
35	個人情報の管理は規程に基づいて適正に行われている。	○		
36	現金や小切手、各種通帳の管理については、規則に基づいて厳正に行われている。	○		
37	金庫や貸金庫の管理については、規則に基づいて厳正に行われている。	○		
38	賃金をはじめとして、職員の労働条件や労働環境の改善を図っている。	○		
39	職員の健康・安全管理については、安全衛生推進者を中心に適切に対応している。	○		
40	職員の採用にあたっては、公正確保とともに、関係書類を整えている。	○		
41	労働組合とは定期的に交渉や協議を行い、協定書を交わしている。			
42	職員の自己評価を実施し、結果を公表するよう努めている。	○		
43	職員の自己評価結果を次年度の教育・保育に生かしている。	○		

○自己評価

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> 認定こども園として必要な教育・保育課程を整えるとともに、保護者や園児のニーズに合わせた魅力ある教育や保育を概ね実施できた。 「働き方改革」のため行事の精選を図り、職員の負担軽減に努めた。 運動会や発表会等の行事では、コロナ禍の中で職員が創意工夫し実施可能な形に変えて、園児一人一人にとって有意義で思い出深いものになった。 事故やトラブルに対する対処法等を職員間で共通理解を図った。そのため大事故や大きなトラブルはなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画や指導計画を見直し、教育・保育課程の一層の充実を図る。 今後も待機児童解消のための保育教諭を確保するとともに、各保育教諭の資質の向上を図るため園内研修をより充実させるとともに研修会等に参加できる環境を整える。 施設設備の老朽化に伴い、計画的に修繕や買い換えを進め教育・保育環境の改善に努める。 各職員は、それぞれの分担業務の履行や物品管理の徹底を図る。 職員にとってやり甲斐があり、働きやすい職場環境を作る。